

行事許可申請書

令和 年 月 日

高松港長 殿

申請者 住所 香川県高松市〇〇町〇丁目〇番〇号
氏名 〇〇ヨット連盟
会長 〇〇 〇〇

1 種類

ヨットレース

2 目的

帆走操船技術の向上及び会員相互の親睦を目的としたクルーザー型ヨットによるレース。（参加予定隻数約〇隻）

3 期間及び時間

令和〇年8月1日から令和〇年8月5日までの間

（予備日 令和〇年8月3日から令和〇年8月5日）

時間 午前〇時〇分から午後〇時〇分までの間

4 区域又は場所

高松港玉藻防波堤灯台から〇〇〇度、約〇〇〇mの地点を中心とする半径約〇〇〇mの円内海域（別図参照）

5 方法

- レースに先立ち、作業船を使用してスタート地点と風上側の回航地点にマークブイ各〇基を〇〇kg アンカーにより設置します。
- 参加艇はレース開始の〇〇分前までにスタート地点海域へ集結します。
- 参加艇は本部艇のスタート旗と汽笛による合図により、本部艇とスタート地点のマークブイを見通したスタートラインから同時にスタートし、回航地点とスタート地点のマークブイの外側を反時計回りに〇往復半帆走し、全参加艇がゴールライン（スタートラインと同じ）を通過した時点で終了とします。
- レース終了後、マークブイは作業船により引揚げ撤去し、各艇はそれぞれの定係地へ帰港します。

6 危険予防の措置

(1) 標識の設置

① スタート地点と回航地点にマークブイ各〇基を設置し、ブイには所有者名及び連絡先を明記する。

① レース参加艇にはクラブ旗、レース旗を掲揚する。

(2) 安全対策

① レース実施海域の本部艇には現場責任者〇〇〇〇を配置し、事故防止等の指揮監督に当たります。（現場責任者所在場所及び連絡方法を明記）

② レース実施中、別表の警戒船をレース海域周辺に配備し、接近船舶に対しては赤旗、拡声器等により注意喚起するとともに、海中転落者及び航行不能艇等の救助に当たります。

③ 本部艇と警戒船は、トランシーバーにより常時連絡体制を確保します。

④ 気象・海象に注意し、気象警報（風、波等）が発令された場合及び次の基準に達した場合、又は同基準が予想される場合には行事を中止します。

風速〇〇m/秒以上、波高〇m以上、視界〇Km以下

⑤ 参加者全員に救命胴衣を着用させます。

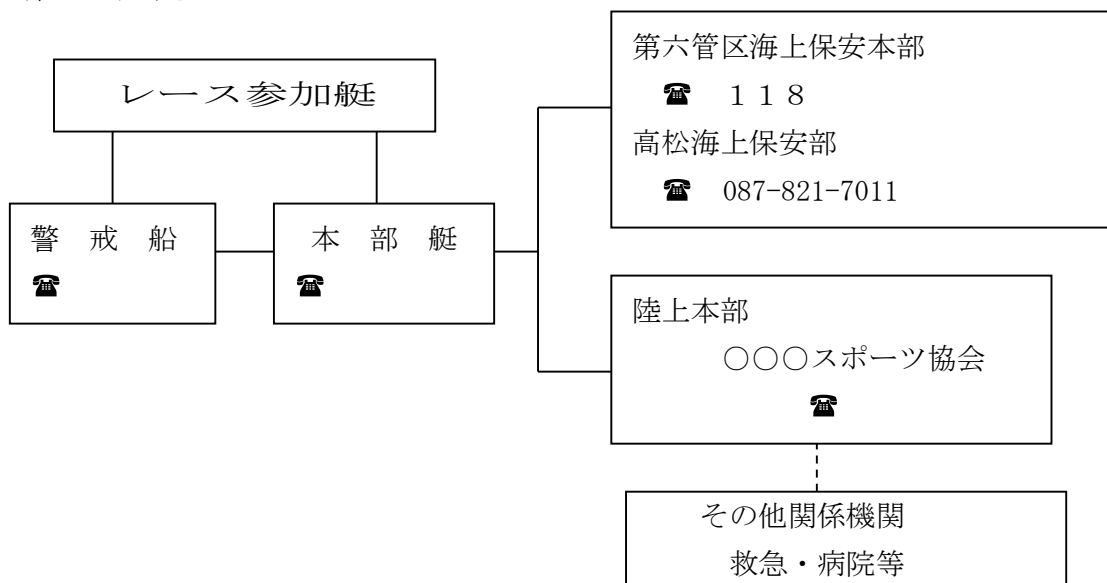
⑥ 事故発生等、緊急時は直ちに応急処置を講ずるとともに、別添「緊急時の連絡体制」により、高松海上保安部等へ速やかに報告します。

⑦ レースの中止、終了時は速やかに高松海上保安部へ電話で報告します。

⑧ 地元漁業協同組合、旅客船運航会社等関係先へは、事前に行事の内容を、期間等を周知します。

⑨ 同日、隣接海域でヨットレースを実施する〇〇ヨットクラブと協議し、行事海域が重複しないように調整済みです。

7 緊急連絡系統



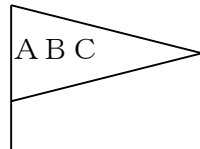
(1) 各艇間の連絡方法

視覚信号、口頭、トランシーバー、携帯電話

業務無線（〇〇〇MHz）

アマチュア無線（〇〇〇MHz）

(2) クラブ旗、レース旗



8 使用船舶一覧

使用目的	船名	所有者	総トン数 馬力	用途	乗組員	専従警戒 要員	船舶検査済 票の番号	船舶検査証書 の有効期限	船長の 氏名	海技免状の種 類・有効期限	連絡手段
本部艇			トン PS		名	名					
警戒船			トン PS		名	名					
警戒船			トン PS		名	名					

ヨットレース参加艇の隻数及び参加人員は、確定後、その一覧表を送付します。

9 連絡先

実施本部（責任者名、電話番号）

参加艇等（船名、責任者名、電話番号）

10 添付資料

- ① 位置図
- ② 区域図
- ③ 実施計画書及び実施要領
- ④ タイムスケジュール表
- ⑤ マークブイの状況図など。